

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称	抗体医薬製造工場	
建設地	北区 松浜町3500番地	
用途地域	工業地域、工業専用	
建物用途	工場	
竣工年	2017年10月 予定	
敷地面積	941,242.00 m ²	
建築面積	2,533.20 m ²	
延床面積	2,564.64 m ²	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2016年11月3日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{59.2}{35.0} = 1.6$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア	値
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	4.3		バリアフリー	Q2.1.1.3	-
			維持管理	Q2.1.3	-
			更新性	Q2.3.3	4.3
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.5		耐震・免震	Q2.2.1	3.0
			信頼性	Q2.2.4	4.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1	-
			自然エネルギー利用	LR1.2	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	LR2.1.1	4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4	4.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	Q3.1	2.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1	2.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

1. 長寿命化への取組み
- ①維持管理面への配慮
- ・耐候性の高い外装材の採用、効果的な水切などの設置、清掃しやすい内装材の採用等
- ②更新性への配慮
- ・天井裏メンテ歩廊の設置、共用部からのメンテナンスルートの確保、SKの設置等

CASBEE®新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	抗体医薬製造工場	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市北区	構造	S造
用途地域	工業地域、工業専用地域、第一種住居地域ほか	平均居住人員	20人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,600時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2016年11月3日
敷地面積	941,242 m ²	作成者	渡部 靖
建築面積	2,533 m ²	確認日	2016年11月3日
延床面積	2,565 m ²	確認者	渡部 靖



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 ①配置上の配慮: 屋外設備を建物の背後となる敷地北側に配置して、周辺環境からの離隔を確保。また排気庫なども北面、西面に設け、周辺住宅地側に向けないよう配慮。 ②建物としての配慮: 東西軸形状として熱負荷の低減を図る。また窓など極力減らして、断熱性能の向上を図っている。		その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 ・屋根、壁、開口部に、それぞれダブル折版、断熱パネル、ペアガラスを採用し、外部熱負荷の影響を抑えるよう計画。	Q2 サービス性能 ①事務室へOAフロアを採用し、情報通信設備に対応。 ②十分な高さの天井などで広さ感確保。 ③維持管理しやすい内装材の採用 ④設備機器の2重化などによる信頼性向上。	Q3 室外環境(敷地内) ・建物位置の配慮、屋外設備置場の工夫、周辺地との緩衝空間確保などにより敷地外環境に配慮。
LR1 エネルギー 省エネ型機器の採用、LED照明の全般的な採用、建築主による管理運営基本計画の策定予定など。	LR2 資源・マテリアル ①省水型機器の採用 ②躯体、内装材、設備機器の分離解体が容易な計画 ③特定有害物質の積極的な排除	LR3 敷地外環境 ①省エネ機器の採用などによる温熱環境への配慮 ②駐車台数の確保と進入路形状の工夫による周辺交通負荷への配慮 ③廃棄物量の把握と計画的な改修方法の策定を予定

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される